

新しい常設展 が始まります

「高松松平家博物図譜」のうち、「衆鱗図」と「衆芳画譜」を展示

特別展関連企画 瀬戸内泰平

—「博物図譜」にみる山野海のめぐみ



近年の自然科学分野の調査成果も紹介

- 会 期** 令和4年9月23日(金・祝)～11月6日(日)
※前期：9/23(金・祝)～10/10(月・祝) 後期：10/12(水)～11/6(日)
(前期・後期で図譜の頁替えあり)
開館時間：9：00～17：00 (毎週土曜日は20:00まで)
※入館は閉館の30分前まで
休 館 日：月曜日(10/10(月・祝)開館、10/11(火)休館)
- 会 場** 香川県立ミュージアム(高松市玉藻町5-5) 常設展示室1
- 展示内容** さまざまな動植物が生き生きと描かれた近世博物図譜の精華「高松松平家博物図譜」(香川県指定有形文化財)のうち、昨今、生物学的な調査研究が進められてきた「衆鱗図」(魚類の図)と「衆芳画譜」(植物の図)を展示します。紐解かれる図譜から、瀬戸内の自然の中にも目にすることができたであろう魚類や植物などの豊かな姿をご覧ください。
また、赤外線撮影や蛍光X線分析を用いた彩色材料調査等、近年の自然科学分野からの調査成果もあわせてご紹介します。
- 展示点数** 3件10点
- 観 覧 料** 一般410円(330円)
*()内は20名以上の団体料金
*特別展観覧券で観覧できます
*高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料
- 関連行事** ミュージアムトーク(担当学芸員による展示解説)
日 時：10月8日(土)、10月29日(土) 各日13：30～30分程度
場 所：常設展示室1 *申込不要、観覧券が必要
※参加者数を制限する場合があります

※新型コロナウイルス感染症防止対策にご協力の上、ご観覧いただきますようお願いいたします。

(裏面に続く)

7 展示資料

しゅうりんず
衆鱗図 江戸時代 高松松平家歴史資料 当館保管



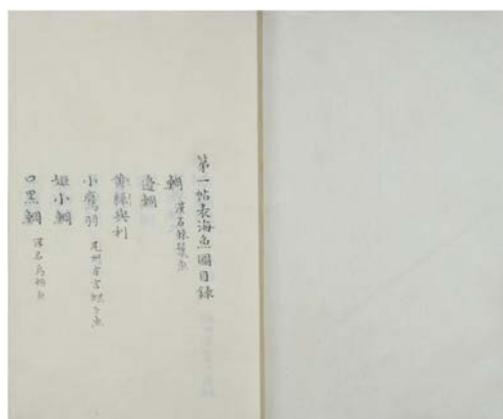
高松松平家に伝わる 4 種 13 帖の博物図譜のうち、魚類などの水生生物の図を収めたもの 4 帖。各図は細部まで精緻に描写されるだけでなく、下地に金銀の箔を用いて鱗の光沢を表したり、表面の凹凸を盛り上げて彩色するなどして対象の質感や立体感が巧みに表現されており、図を輪郭線で切り抜いて台紙に貼るといった方法で仕上げられている。

しゅうほうがふ
衆芳画譜 江戸時代 高松松平家歴史資料 当館保管



様々な植物の図を収めたもの 4 帖。各図は細部まで精緻に描写されるだけでなく、表面の凹凸を盛り上げて彩色し、雲母や艶のある素材を塗るなど対象の質感や立体感まで細かく表現されている。基本的に 1 件の植物の葉や根、花などを 1 枚の紙に描いて貼られているが、中には葉先などの一部を輪郭線に沿って切り抜いた図も見られる。

しゅうりん てかがみ
衆鱗手鑑目録 江戸時代 高松松平家歴史資料 当館保管



「衆鱗図」とともに伝来。奥書などから宝暦 12 年 (1762) に高松藩 5 代藩主・松平頼恭が幕府へ献上した「衆鱗手鑑」に収められていた魚図の名称を記した目録と考えられる。乾坤 (上下) 2 冊にそれぞれ第 1 帖と第 2 帖の内容が記されており、内容を見ると、第 1 帖および第 2 帖表に「海魚図」、第 2 帖裏に「河魚并湖魚図」と「雑部」(エビ、カニなど) が収められていたことが分かる。